

第3期奈良県がん対策推進計画策定に寄せて

奈良県では、健康寿命を男女とも日本一にすることを目指しています。健康寿命を延ばすためには、健康づくりの推進と併せて、必要な医療を適切に受けられる医療体制の整備が重要です。

「がん」は、国と同様、県においても死因の第1位であり、年間では死因の3割を占める4千人の方ががんで亡くなっています。また、平成25年には、1年間にがんにかかる方が初めて1万人を超えました。超高齢社会を迎えた今、健康寿命の延伸のためには、がん対策の推進はますます重要となります。

そのような状況の中、このたび、がん対策を総合的かつ計画的に推進するため、「第3期奈良県がん対策推進計画」を策定いたしました。

県のがん対策推進計画としては、平成21年11月に第1期となる計画を策定しましたが、その策定期間が全国で最も遅いという残念な結果となり、各方面の関係者から、お叱りの声とともに、「何とかしなくては」とたくさんの応援の手がさしのべられました。

平成25年3月に策定した「第2期奈良県がん対策推進計画」では、「がんにならない、がんになっても安心できる奈良県」を基本理念に、各分野の関係者とともに一体となりがん対策に取り組みました。

その結果、第2期計画の目標指標の多くが改善し、中でも、がんの75歳未満年齢調整死亡率は、2005年からの10年間で全国34位から9位となり、10年間の減少幅は全国一となりました。これもひとえにご尽力いただいた関係者の皆様のおかげだと感謝しております。

「第3期奈良県がん対策推進計画」では、有識者や医療関係者、関係団体や市町村の代表、がん患者等から構成される協議会や部会の委員、総勢100名にもなる方々に熱心にご協議をいただき、がん予防・早期発見、がん医療、がん患者支援、がん教育などの各分野で進めるべき取組をまとめることができました。

今後は、第3期計画に基づき、さらなる死亡率の減少を目標に、「がんで亡くならない県、日本一」を目指して、がん対策を推進してまいります。

結びに、貴重なご意見やご支援をいただきました関係者の皆様はじめ県民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成30年3月

奈良県知事 荒井 正吾